

知床の窓から見えるもの

2017年6月12日（月曜日）

「知床開きまであと少し！」

町の至るところで、知床開きのポスターを見かけ指折り数えながら当日を楽しみに過ごしている看護師です。島根県の松江市立病院から知床らうす診療所へ看護師の短期研修派遣が始まり、今年で3年目になりました。私は、5月から3ヶ月間診療所でお世話になりますが、診療所で過ごしたこの1ヶ月、僻地医療の大変さを感じながら羅臼町にとっての診療所は、とても身近で大切な役割を担っているなど気づく毎日です。

そして羅臼町民の方、診療所の職員の方に親切にして頂きながら休日には北海道・道東の壮大な自然に癒され羅臼の美味しい魚介に感動しながら観光も楽しんでいます。

ゴールデンウィークは羅臼湖トレッキングに参加し、十数年ぶりに登山にも挑戦しようと思い、摩周岳にも登ってきました。霧に覆われていることの多いと言われる摩周湖ですが、摩周岳から摩周湖を見渡す事ができた時は登山の疲れも吹っ飛びました。



いつか北海道を旅行したいと思いながらなかなか叶わず。初めての北海道がこの羅臼町で3ヶ月滞在できるチャンスを頂けたことに感謝しながら、残り二か月弱ですが自分の役割を見つけながら勤務していきたいと思っておりますのでよろしくお願いします♪

最後に、言葉の壁はあまり感じなかったのですが（町民の方は私のイントネーションが違うことにすぐにお気づきの様でしたが）お腹が痛いことを「ニヤニヤする」と表現されたのを聞いたときは少し驚きでした（^^）